

株式会社
やまみ

品質へのこだわりと収益体制を両立 昨年6月に東京証券取引所第一部に上場

豆腐や厚揚げ、油揚げなど、大豆加工食品の製造・販売を手がけている株式会社やまみ（本社広島・三原市、山名清代表取締役）。最新の製造設備への投資を積極的に行い、安心・安全で高品質の商品を消費者の家庭に届けている。好調な売上に裏打ちされた急成長の魅力に迫る。

日本一の豆腐メーカーを目指す 創業以来、売上は右肩上がりで推移

昭和50（1975）年の設立以来、「大豆食品の提供を通じて、お客様に信頼される価値ある企業を目指す」ことを理念に掲げているのが株式会社やまみだ。日本

一の豆腐メーカーを目指して経営を続けており、現在は広島・滋賀・静岡の3県に工場を展開している。

近年好調の売上高を見てみよう。平成29年が97億9,300万円、平成30年が104億9,900万円、令和元年が108億8,100万円、令和2年が126億4,400万円と、右肩上がりです。令和3年についても130億2,000万円の売り上げを見込む成長企業だ。

いまから4年前の平成28年6月、やまみはJASDAQ

に上場。その後も順調に企業価値を高め、昨年6月28日、東京証券取引所の第一部に市場を変更した。商品を購入するお客様や取引先、株主などの全てのステークホルダーに満足してもらえよう、事業の継続的な成長と企業価値の向上に努めていくという。

圧倒的な生産能力が強み 高校新卒者の採用に意欲

「安心・安全、そしておいしい製品」にこだわりを持つ同社では、北海道産の大豆を100%使用した商品や個食化に対応した小分けサイズの豆腐など、お客様のニーズを捉えた商品開発を行っている。また、最新

の製造設備への投資を躊躇なく行い、他社を圧倒する時間当たり製造量と、小分け・カット済みなどの高い加工技術を両立している。衛生面でも食品安全の国際規格であるFSSC22000・ISO22000を取得するなど、高いレベルで管理を行っている。そうした企業努力により、大手スーパーマーケット・コンビニエンスストアからの大口受注を獲得していることが企業成長の要因だ。

やまみの特色の一つに、社員教育の充実が挙げられる。入社後の新入社員研修や、役職に応じた社内外研修も年々アップデートを重ね、改良を図っている。人事評価においても、学歴や年齢、性別に関係なく実績で評価しているため、若手社員が意欲と活躍を認められ、早期に管理職へ昇進するチャンスも多い。そう



最新鋭の大規模設備による圧倒的な生産量

した同社だけに、採用意欲は旺盛で、高校新卒予定者の採用活動にも積極的だ。全ての工場で現在、2次募集を継続しており、高校生が企業見学を行う際は交通費を支給するなど、学生への配慮も欠かさない。

現在も就職活動を継続しており、食品業界や製造業に興味を持っている生徒がいれば、高校の先生方は積極的に情報提供をしたいところだろう。採用人数を満たした時点で募集を締め切ってしまう可能性があるため、応募に関する詳細については、☎ 0848-86-3788 採用担当まで。



多くの人々から愛されている自慢の豆腐